

【 調査の概要 】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- (1)調査対象 鳥取県内在住の18歳以上75歳未満の者 3,000名
- (2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3)調査時期 令和6年6月
- (4)調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。
- (5)有効回答数 1,638名
- (6)回収率 54.6% (1,638/3,000)
・郵送回答:894(54.6%)・インターネット回答:744(45.4%)
- (7)回答者の属性 性別:男性703人(42.9%)、女性862人(52.6%)
その他・回答したくない46人(2.8%)、無回答27人(1.6%)
年齢:18~19歳(2.6%)、20~29歳(11.7%)、30~39歳(12.5%)、
40~49歳(16.7%)、50~59歳(18.3%)、60~69歳(22.2%)、
70歳以上(15.1%)、無回答(1.0%)

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。このため、百分率の合計が100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。

(4)問6について

問6は鳥取県の総合戦略の施策の取組に対する満足度と重要度に関する設問としていますが、令和6年4月に総合戦略が改正されたため、問6で扱う施策の取組も新総合戦略に合わせて変更しました。そのため、前回調査との単純な年次比較ができないことから、過去5年間の年次推移については、今回の調査とは別に参考として掲載しています。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上75歳未満の鳥取県推計人口 353,242 人(令和5年10月1日時点)から無作為に 3,000 人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は 1,638 人であり、回収率は 54.6%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)}\right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数
- α = 推定を誤る確率
- $X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)
- N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)
- σ^2 = 母分散
- ε = 精度

本調査では、信頼度を 95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96 であり、母集団の大きさは 353,242 人。精度を仮に 3%、母比率を 50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{353,242}{\left[\frac{3}{1.96}\right]^2 \cdot \frac{353,242}{50 \times 50} + 1} = 1063.897$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は 1,063 人であり、有効回答 1,638 人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1}\right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

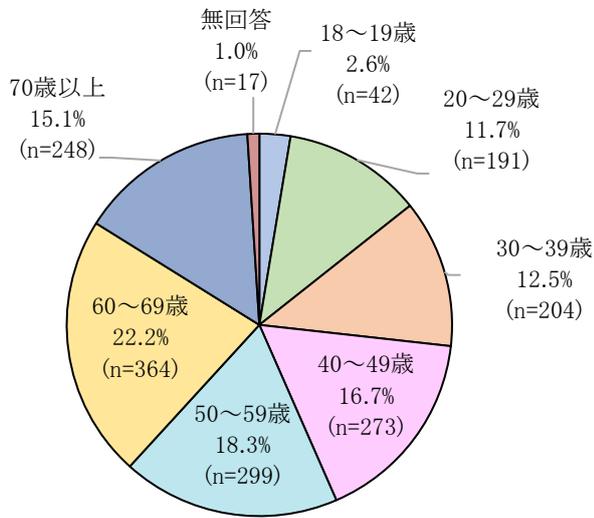
- B = 標本誤差
- N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)
- n = 回答者総数(1,638 人)
- Q = 母比率(0.5 とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{351,604}{353,241}\right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,638}} = \pm 2.36$$

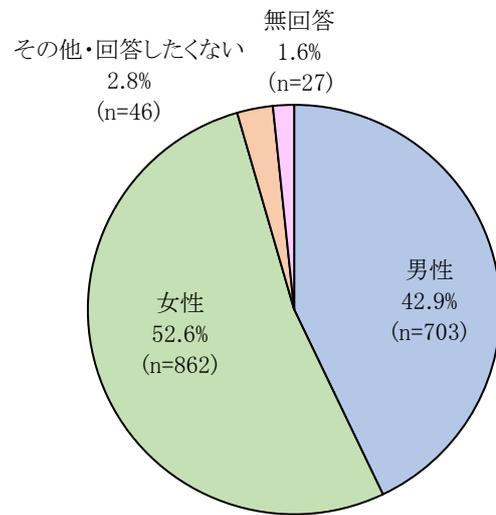
すなわち、標本誤差は $\pm 2.4\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

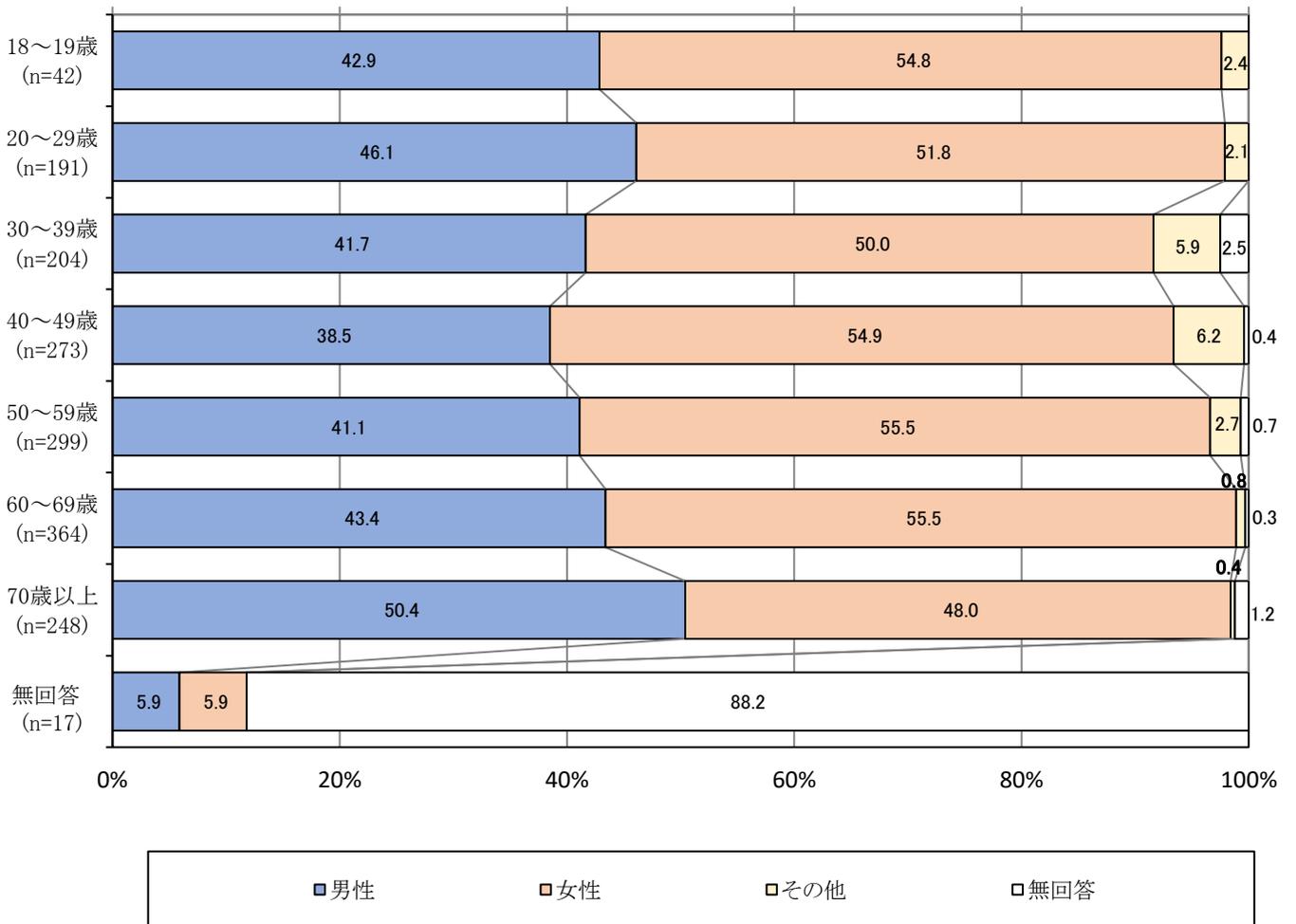
(1) 年代



(2) 性別



(3) 性別 × 年代



<市町村別調査対象者数>

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	62,072	61,747	123,819	527	524	1,051
	岩美町	3,451	3,381	6,832	29	29	58
	八頭町	4,910	5,018	9,928	42	43	85
	若桜町	795	764	1,559	7	6	13
	智頭町	1,899	1,862	3,761	16	16	32
	(小計)	73,127	72,772	145,899	621	618	1,239
中 部 地 区	倉吉市	13,979	14,712	28,691	119	125	244
	湯梨浜町	5,045	5,189	10,234	43	44	87
	三朝町	1,855	1,792	3,647	16	15	31
	北栄町	4,410	4,560	8,970	37	39	76
	琴浦町	4,913	4,967	9,880	42	42	84
	(小計)	30,202	31,220	61,422	257	265	522
西 部 地 区	米子市	46,402	48,732	95,134	394	414	808
	境港市	10,596	10,509	21,105	90	89	179
	南部町	3,271	3,227	6,498	28	27	55
	伯耆町	3,203	3,185	6,388	27	27	54
	日吉津村	1,152	1,219	2,371	10	10	20
	大山町	4,619	4,553	9,172	39	39	78
	日南町	1,206	1,000	2,206	10	9	19
	日野町	807	774	1,581	7	7	14
	江府町	736	730	1,466	6	6	12
	(小計)	71,992	73,929	145,921	611	628	1,239
合 計		175,321	177,921	353,242	1,489	1,511	3,000

※人口は鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」より、令和5年10月1日時点の18歳以上75歳未満の推計人口を用いた。

<回答者の情報>

【性別】

区分	件数	割合(%)
男性	703	42.9
女性	862	52.6
その他 ・回答した くない	46	2.8
無回答	27	1.6
計	1,638	100

【年代】

区分	件数	割合(%)
18～19歳	42	2.6
20～29歳	191	11.7
30～39歳	204	12.5
40～49歳	273	16.7
50～59歳	299	18.3
60～69歳	364	22.2
70歳以上	248	15.1
無回答	17	1.0
計	1,638	100

【職業】

区分	件数	割合(%)
会社員 (公務員含む)	766	46.8
自営業 (家族従業者含む)	140	8.5
パート ・ アルバイト	242	14.8
学生	72	4.4
専業主婦 ・主夫	119	7.3
無職	272	16.6
無回答	27	1.6
計	1,638	100

【住まい】

区分	件数	割合(%)
鳥取市	598	36.5
米子市	441	26.9
倉吉市	116	7.1
境港市	97	5.9
岩美町	26	1.6
八頭町	43	2.6
若桜町	8	0.5
智頭町	18	1.1
湯梨浜町	48	2.9
三朝町	15	0.9
北栄町	43	2.6
琴浦町	42	2.6
南部町	24	1.5
伯耆町	30	1.8
日吉津村	12	0.7
大山町	32	2.0
日南町	12	0.7
日野町	8	0.5
江府町	8	0.5
無回答	17	1.0
計	1,638	100